



◆この二カ月間にも、大きな事件が続きました。民営軍隊に参加してイラクにいた日本人が武装勢力によって拘束され、国内ではJR西日本の大鉄道事故がありました。そして小泉首相の靖国参拝開き直り発言など。心の休まることはありません。脱線事故のあった日、意見広告運動事務局の井上さんは、反戦運動の会議に参加するため、その尼崎にいたのでした。無事帰京されて胸をなでおろしました。

◆詩人の井之川巨さんは本誌88号に「不戦六十年の夜に」という心うつ詩を寄せてくださいました。その井之川さんが栗原貞子さんに続けて急逝されたことはショックでした。長谷川修児さんにお二人への追悼の文を書いていただきました。巻頭には、栗原さんの有名な詩、「ヒロシマというとき」を載せました。小泉首相に読ませたい詩です。

市民の意見30の会・東京
2005年3~4月 会計

1. 収入	
一般会費	356,300
協力会費	119,200
敬老協力会費	4,500
敬老会費	77,000
身障者会費	4,000
(会費小計)	(561,000)
カンパ	146,862
ニュース販売	1,668
書籍販売	3,400
バッジ等販売	6,260
銀行利息	7
立替金精算	24,621
預かり金(*1)	232,100
収入計	975,918
2. 支出	
印刷費(*2)	314,863
コピー代	3,600
発送費(*3)	96,066
通信費(*4)	20,479
事務用品	16,038
事務所費(*5)	385,200
光熱費	20,552
送金手数料	1,826
4/10集会(*6)	697
雑費	3,489
支出計	1,240,028
3. 収支	-264,110
前月から繰越	3,307,055
次月への繰越	3,042,945
残高の内訳	
会基本会計	1,077,454
条約基金	164,215
次期意見広告	1,326
F/I基金	1,498,240
預り金(*8)	301,710
計	3,042,945

注(*1) 内、意見広告賛同費 ¥224,100。ブーメランへの分 ¥3,000 (*2) 内、News No. 89 ¥187,755 4/10集会用宣伝紙 ¥126,808 (*3) 内、News No. 89 発送 ¥82,532 (*4) 内、BIGLOBEが ¥4,200 他は電話料。(*5) 内、2年毎の契約更新料 ¥165,200 (*6) 4/10集会の赤字分担金 (*7) 4/10集会の意見広告運動負担分。(*8) 内、市民意見広告運動への預かり金 ¥263,500 ブーメランへの分 ¥6,000

援のことを話されています(5ページ)。栗原貞子さんの詩に「アメリカへは行くな」という作品(68年)がありますが、これはまさに、この脱走した日本人米兵(彼は広島市の出身でした)を支援する運動に参加される中で書かれたものでした。土曜美術社出版販売の『栗原貞子詩集』(1300円)にも掲載されています。ご覧くださいませよう。

◆86号でインタビューさせていただいた岡本太郎記念館長、岡本敏子さんが亡くなられたのも残念でした。そのときはとてもお元気でいろいろお話いただいたのですが。

◆5月3日に「九条実現」の意見広告が載り、その反響の大きさに、あらためてこの運動のもつ力を実感させられています。殺すなバツジの注文も、『「反改憲」運動通信』の申し込みも連日多数が届き、また、この会への新入会者も4月から大幅に増加しています。

◆4月10日の集会に参加しなかったが、都合がつかず……というご連絡をずいぶん頂きました。今号ではそういう方がたのことを考え、

講演をほとんど削らずに採録しました。次号は8・15六〇周年直前の号ですので、その特集を考えています。

◆今回も徹夜の編集作業となりました。午前4時ともなると、空が明るくなってくることに気づきました。庭のアジサイの蕾みもだいぶ大きくなってきました。(YY)

〔訂正〕 前号「イラク戦争脱走米兵は訴える」の中で、9ページ上段15行目に「彼の船をサン・デイエゴ軍港のデッキから見送った」とあるのは、「軍港の埠頭から見送った」の誤りでした。お詫びして訂正します。本野義雄

会計係より 今期は赤字会計となりました。4月10日の集会のための支出が大きかったことと、2年毎の事務所の契約更新料のためです。でも、新入会、バッジ注文など、急カーブでの右肩上がりですので、遠くないうちに、この分を埋めることは出来るのでは、と思っております。しかし、カンパ、期待しております。よろしく。